

生活産業創出研究会報告書 抜粋

(平成14年12月26日)

2.1 世紀型観光の振興

2. 具体的提言

(2) 魅力ある観光地の創造・再生

従来型の個性のない観光地が低迷する中、人々の新しいウォンツに対応する魅力を打ち出せた観光地は、多くの人々を集めている。そうしたところは、各々の地域が、独自の努力で主体的に、時間をかけて個性あるまちづくりに取り組んできており、多くの場合、その中心にはたぐいまれな努力をしてきた傑出した人々の存在が指摘されるところである。

今後の個性ある観光地づくりの決め手は、このような中心となる人々をどう育てていくか、また、どのようにまちづくりの情報を伝えていくかということが重要となってくる。

『カリスマ百選』 ネット・アカデミー

各地でがんばる人を育てていくためには、これら各地において観光振興を成功に導いた人々のたぐいまれな努力に学ぶことが極めて効果が高い。このため、各地において観光振興を成功に導いた人々の実績等を詳しくデータベース化し(『カリスマ百選』の制作)これを全国からアクセスできるようネットワーク化する(ネット・アカデミーの構築)ことが必要である。

また、そのようなカリスマから直接話を聞いたり、各地で努力する人々が交流し、学習したりする場(カリスマ塾の開催等)などを設けていくことも重要である。